

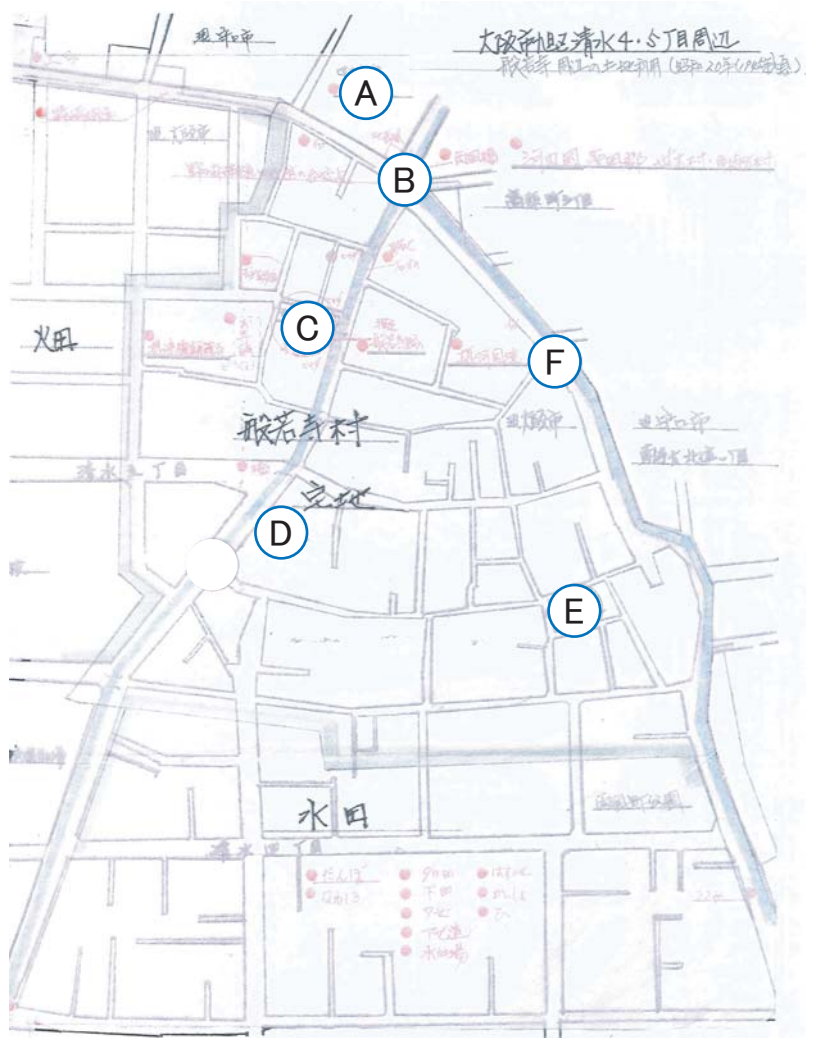


# 般若寺跡

はんにゃじあと

## 清水4・5丁目周辺「般若寺跡」について

「般若寺跡」について、大阪市旭区郷土資料室に関係資料が展示されており、この資料によると「般若寺跡」は八幡大神宮御旅所(推定)とあり写真の説明文は次のとおりである。



## 般若寺周辺の土地利用

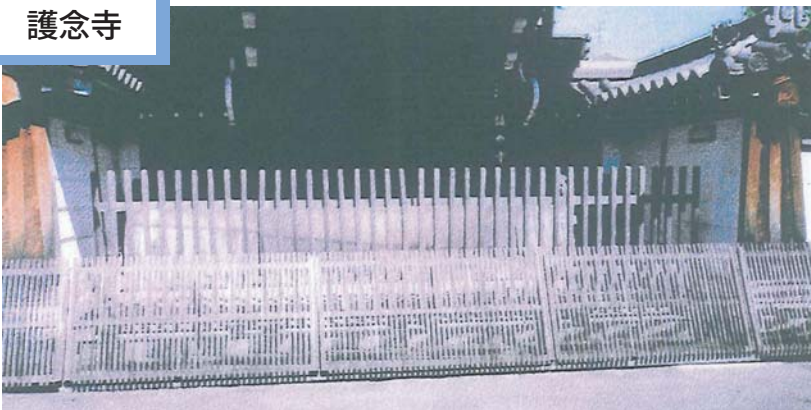


■ 清水地区の農道風景  
(鶴見公園・自然体験観察園より) (平成20年10月)

■ 昭和20年(1945年)頃

もとは般若寺村と呼ばれた清水4～5丁目あたりには、後醍醐天皇が京都の大徳寺の大灯国師を迎えて建てた般若寺という大きなお寺があったといわれています。お寺の境内に六百巻の大般若経を埋めたことから般若寺と名付けられたとつたえています。(財)大阪市文化財協会

### A 護念寺



■ 護念寺



## B 両国橋



■野崎街道と  
剣街道の合流点

「般若寺村」は江戸期より明治22年までの村名で、その後明治22年から大正14年の清水村の大字名である。村名ともなった般若寺について、貞和5年(1349)11月27日の大徳寺領庄園文章目録(大徳寺文章)に「摂津榎並般若寺寄進状 以下十参通」と寺領が大徳寺に寄進されており、ここに般若寺という名が初めて見える。650年以前の古い地名である。

しかし、般若寺跡は未だに特定されていない。この特定には、遺跡や遺構、瓦や土器など人工遺物、自然遺物、木簡などの文字資料など、あらゆるモノの発見と今後の遺跡の発掘や古い資料の収集が課題である。

## C 推定) 般若寺跡



■八幡大神宮 御旅所  
推定 般若寺跡(財)大阪市文化財協会

## D 地藏様



■地藏様 清水五丁目